

令和6年度 1学期 自己評価・学校関係者評価報告書(年中組)

令和 6年 7月 19日
学) 広島ルーテル学園 西条ルーテル幼稚園

○本園の教育目標

- ①一人ひとりがかけがえの無い存在であることを知り、日々神様からの恵みに感謝する(感謝)
- ②集団生活の中でいたわりの心を持ち、仲間と喜びを分かち合う(喜び、いたわり)
- ③責任ある自由の基礎を身につけ困難に立ち向かう勇気を持つ(責任・勇気)

○評価項目の達成及び取り組み状況 ◎年中組(さくら組・ばら組)

(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

	評価項目	評価	改善するために
保育目標	①子どもの主体性を大切にされた保育を展開する	B	・主体的に遊びを楽しむ姿を大切にしているために、園内外の物的環境を整え子ども自らの思いや考えが自由に活用されるようにしていく。
	②学年の重点目標を意識した保育を行う	B	
保育	①子どもの様子を見ながら、一人ひとりにあった言葉かけをして表現力を伸ばす	B	・子どもの分かる言葉で具体的に褒めていくようにする。 ・「どんなことに興味があるのか」、「どんなことを楽しい、悲しいと思うのか」など言葉や表情などを汲み取りつつ、子どもの話を受け止める時間を持つ。
	②日々の生活の中でその子の良い所を見つけ、肯定感が持てるような言葉かけをしている	B	
	③朝の登園時には視診を大切に幼児の体調が悪くないか確かめている	A	
	④登園時に名簿をチェックし子どもの登園を確認している	A	
行事	①指導計画は幼児の興味や関心を考慮して作成し生活が豊かになるような行事を行っている	B	・行事の実施の際に、ねらいを意識し、具体的な方向性がぶれないようにする。
	②行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B	
環境・施設設備	①安全で清潔感のある環境構成をしている	B	・日々の保育の中で環境構成を考えているが、パターン化している部分も多いので、子どもの様子や季節に応じた環境の再構成をしていく必要がある。
	②子どもの成長や季節に応じた環境構成をしている	B	
	③園内に危険な箇所がないか・危険な遊び方はないか等、常に観察している	A	

○本年度重点的に取り組む目標・計画

- (年少) ・礼拝を通して神さまの存在を知る。
・園生活の中での一日の流れを知り、いろいろな活動に意欲的に取り組む。
- (年中) ・自分の思いを伝えたり友だちの思いに気付いたりしながら、共に生活することを楽しむ。
・自分がしたい遊びを十分に楽しみながら興味や関心を広げていく。
- (年長) ・共通の目的に向かって友だちと考えイメージを話し合い、協力して活動をすすめる。
・クラスの一員として、目標に向かって試行錯誤をしながら繰り返し挑戦し、充実感を味わう。

	評価項目	評価	改善するために
挨拶	①職員は子どもに挨拶の大切さを伝えている	A	・挨拶していくことの大切さを伝えていった。今後も手本となるような挨拶を続けていく。
	②職員は保護者に対して気持ちのいい挨拶をしている	A	
	③一日を通し職員同士で気持ちのいい挨拶ができています	A	
保護者との連携	①保護者に子どもの姿を丁寧に伝えることを心掛け、連携をとっている	B	・お迎えに来られる保護者の方には伝えられているが、バス登園の子ども保護者の方には伝えきれていない。保護者の方に安心していただけるように、ドキュメンテーションの更新に取り組む。
	②園の保育内容や子どもの姿が分かるように発信をしている(ドキュメンテーション・コドモン)	B	
職員間の連携	①職員間での連携が取れている(報連相)	B	・日々の保育を振り返ることは出来ているが、よりよい保育を行う為に学年同士での話し合いや反省、意見交換などを多く取り入れていく。
	②子どもや保護者の事など、小さな事でも報告・連絡・相談等をしている	B	
	③日々の保育を振り返り、学年同士での連携をとりながら保育に生かす事ができている	B	
備考			